

第120号

令和4年度

会 報

学校保健のうごき

編集発行

〒420-8601

静岡市葵区追手町9-6

静岡県教育委員会

健康体育課内

静岡県学校保健会

電話〈054〉221-2929

FAX〈054〉273-6456

第61回静岡県学校保健研究大会（富士大会）



【開会式】 3年振りの対面方式での開催



【実践発表】



【開会式】



【記念講演】

コロナ禍での学校保健

令和2年1月に発生が確認された新型コロナウイルス感染症は、3年が経過した今日に至っても終息の兆しが見られない。

ウイルスは変異を繰り返し、令和5年1月現在、第8波の感染拡大期を迎え、全国の1日当たりの感染者数は20万人を超える日も見られる。また、1日の死者数も500人を超えるなど過去最多となり厳しい状況にある。さらに、昨年度顕著な流行が見られなかった季節性インフルエンザとの同時流行も危惧されている。

有効な感染対策とされるワクチン接種は5回目を迎え、変異株に対応したワクチン接種が進められているが、その接種率は伸びてきていない。

しかし、このような厳しい状況にあってもウイルスの特性や発症時の傾向が少しずつ判明してきたことにより、旅行や集会の自粛などの大規模な行動制限はとられていない。

学校は、子どもたちの学びを保障するため With コロナの学校生活の在り方を模索している。対面方式での授業が戻り、運動会や修学旅行などの学校行事は感染防止対策（時間短縮・マスク着用・手指消毒）を取りながら通常の活動に近い状態で実施している。また、感染防止のため行っていた給食の「黙食」も緩和されてきている。

3年に及ぶコロナ禍での生活が、子どもたちの成長にどのような影響を及ぼしているのか心配する声も聞かれる。

静岡県学校保健会は通常の事業を実施するよう努めてきた。

第61回静岡県学校保健研究大会（富士大会）は、令和元年度の第58回大会（磐周大会）以来、3年振りに対面方式で開催することができた。また、学校訪問も通常どおりに実施した。

しかし、生徒保健委員活動発表会は、生徒や教職員の不安や負担を軽減するためオンラインでの開催とした。また、全国大会や関東ブロック大会など県外への移動が伴う事業については Webでの参加とした。

長引くコロナ禍にあっても通常の日常生活や学校生活が戻ることを誰もが待ち望んでいるが、感染状況は未だ終息の兆しが見られず厳しい状況である。With コロナの生活がこれからも続く。



【日本国内の感染者数 2020年2月～2023年1月】
情報：NHK 特設サイト「新型コロナウイルス」より

第 61 回静岡県学校保健研究大会

本大会は、令和元年度の第 58 回大会（磐周大会）以来、3 年振りに対面方式での開催となりました。参加者の削減、手指消毒、マスク着用などの感染防止対策をとりながらの開催でしたが、オンライン開催では得られない対面方式のよさを改めて感じる事ができた大会になりました。

- 1 開催日時 令和 4 年 11 月 17 日（木） 12：40～16：10
- 2 会 場 富士市ロゼシアター （富士市蓼原町 1750）
- 3 参加者 381 名
 （内訳） 一般参加者 292 名 来賓 3 名 受賞者 5 名
 講師 1 名 大会役員 18 名 大会運営委員 62 名

4 日 程

(1) 開会式・表彰式

- ① 開会のことば 静岡県学校保健会 副会長 秋山 欣三
- ② 国歌清聴
- ③ あいさつ 静岡県学校保健会 会 長 齋藤 昌一
 静岡県教育委員会 教育長 池上 重弘
 富士市学校保健会 会 長 渡邊 正規
- ④ 祝 辞 富士市長 小長井 義正 氏



【挨拶】静岡県学校保健会長



【挨拶】静岡県教育長



【挨拶】富士市学校保健会長



【挨拶】富士市長

- ⑤ 表彰式 <表彰> 受賞者代表（個人 1 名・学校 3 校）
 <受賞者代表あいさつ> 学校保健功労者 杉浦 毅 氏（学校医）
- ⑥ 感謝状贈呈式 静岡県学校保健会 前会長 紀平 幸一 氏（静岡県医師会会長）



【表彰式】受賞者代表



【表彰式】



【感謝状贈呈式】

(2) 実践発表

研究主題

「生涯にわたり 心豊かで健やかに生きる子」

～小中一貫した健康教育で、健康意識の向上をめざす～

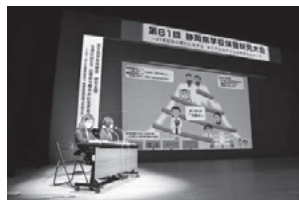
発表者

富士市学校保健会 学校医部

富士市学校保健会 健康教育部



【実践発表】



【実践発表】



【実践発表】

富士市学校医の皆様

(3) 記念講演

演題

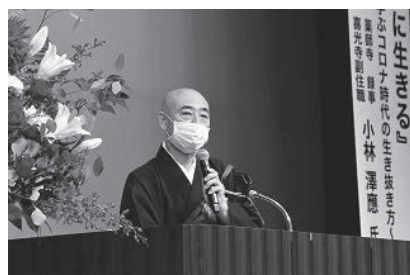
「心豊かに生きる」

～佛道修行の観点から学ぶコロナ時代の生き抜き方～

講師

小林 澤應 先生

法相宗大本山薬師寺録事・法相宗別格本山喜光寺副住職



【記念講演】



【記念講演】

(4) 閉会式

① 主催者代表謝辞

静岡県学校保健会

副会長

清水 淳次

② 次回開催地区代表あいさつ

田方地区学校保健会

会長

杉山 達郎

③ 閉会のことば

富士市学校保健会

副会長

福島 潤子



【主催者代表謝辞】



【次回開催地区代表あいさつ】



【閉会のことば】

令和4年度 学校保健功労者表彰 被表彰者(76名)

【学校医】 24名

No.	氏 名	所属校・担当校	No.	氏 名	所属校・担当校
1	松尾 博道	伊東市立東小学校	11	藤本 嘉彦	島田市立初倉南小学校
		伊東市立西小学校	12	上村 健太郎	牧之原市立相良小学校
		伊東市立旭小学校			牧之原市立菅山小学校
2	金木 昌之	三島市立錦田中学校			牧之原市立萩間小学校
3	山口 晶久	三島市立西小学校			牧之原市立地頭方小学校
4	遠藤 真琴	裾野市立富岡中学校			牧之原市菊川市学校組合立 牧之原小学校
		裾野市立富岡第一小学校			牧之原市立相良中学校
		裾野市立富岡第二小学校			牧之原市立榛原中学校
5	久保 貴史	裾野市立千福が丘小学校	13	酒井 英訓	御前崎市牧之原市学校組合立 御前崎中学校
6	杉山 茂樹	裾野市立東小学校	14	浅井 美洋	浜松市立引佐北部小学校
		裾野市立東中学校	15	宇佐神 篤	浜松市立新津小学校
7	杉浦 毅	富士市立元吉原小学校	16	金田 健作	浜松市立笠井小学校
		富士市立田子浦小学校	17	玉腰 勝敏	浜松市立丸塚中学校
		富士市立田子浦中学校	18	林 淳一郎	浜松市立引佐南部中学校
8	永松 清明	富士宮市立富士宮第一中学校	19	町田 拓幸	浜松市立細江中学校
9	相羽 英彦	島田市立六合中学校	20	向高 洋幸	浜松市立城北小学校
10	秋山 貴紀	島田市立初倉南小学校	21	廣瀬 尚子	静岡県立相良高等学校
		島田市立相賀小学校	22	宮田 嘉世子	静岡県立静岡視覚特別支援学校
		島田市立神座小学校	23	栗田 邦雄	静岡県立袋井商業高等学校
		島田市立伊久美小学校	24	影山 貴一	静岡県立磐田南高等学校
		島田市立初倉小学校			
		島田市立六合東小学校			
		島田市立六合中学校			
		島田市立初倉中学校			

【学校歯科医】 14名

No.	氏 名	所属校・担当校	No.	氏 名	所属校・担当校
1	勝田 洋平	下田市立下田小学校	7	中川 主夫	磐田市立豊田中学校
		下田市立大賀茂小学校	8	長野 正弘	浜松市立井伊谷小学校
		下田市立下田中学校	9	村上 文彦	浜松市立中川小学校
2	村松 広康	河津町立河津中学校	10	吉田 雅昭	静岡県立三島長陵高等学校
3	高川 徹一	伊東市立富戸小学校	11	高尾 和秀	静岡県立清水南高等学校
4	鈴木 貴夫	富士宮市立大宮小学校	12	大井 通	静岡県立榛原高等学校
5	小田 義浩	焼津市立大村中学校	13	柴田 和宏	静岡県立榛原高等学校
6	柴田 真紀子	牧之原市立川崎小学校	14	大竹 繁	静岡県立磐田南高等学校

【学校薬剤師】 7名

No.	氏 名	所属校・担当校	No.	氏 名	所属校・担当校
1	鈴木 祐一	熱海市立初島小中学校	5	大石 雅宣	菊川市立堀之内小学校
2	滝口 秀之	御殿場市立神山小学校	6	鶴田 徹也	浜松市立葵西小学校
3	佐野 礼子	富士宮市立黒田小学校	7	横田 俊之	浜松市立気賀小学校
4	西島 秀明	焼津市立大村中学校			

【校長】 9名

No.	氏 名	所属校・担当校	No.	氏 名	所属校・担当校
1	鈴木 哲也	富士宮市立富士宮第二中学校	6	鈴木 清吾	浜松市立湖東中学校
2	曾我 広義	島田市立島田第一小学校	7	野澤 直矢	浜松市立北浜北小学校
3	藁科 篤史	元焼津市立和田小学校	8	和田 恵子	浜松市立大平台小学校
4	井上 聡	浜松市立舞阪小学校	9	小松 健次	湖西市立鷺津小学校
5	木下 健	浜松市立新原小学校			

【保健主事】 1名

No.	氏 名	所属校・担当校
1	藤田 千鳥	静岡県立浜松城北工業高等学校

【養護教諭】 21名

No.	氏 名	所属校・担当校	No.	氏 名	所属校・担当校
1	金井 聡子	伊豆の国市立韮山小学校	12	吉田 真由美	焼津市立大井川東小学校
2	杉山 亜希子	伊豆市立中伊豆中学校	13	渡辺 直子	牧之原市立相良小学校
3	齋藤 直子	三島市立北小学校	14	辻野 克美	掛川市立中央小学校
4	福田 敬子	清水町立清水中学校	15	山崎 多恵子	御前崎市立浜岡中学校
5	武藤 ほづみ	裾野市立富岡中学校	16	佐野 知子	掛川市立西山口小学校
6	望月 直美	富士宮市立大富士小学校	17	永井 有理恵	磐田市立竜洋中学校
7	佐野 由紀子	富士宮市立上野小学校	18	壁屋 章子	袋井市立浅羽中学校
8	中島 由紀江	富士宮市立富士宮第一中学校	19	伊藤 寿子	浜松市立三方原中学校
9	齊藤 映子	静岡市立清水小学校	20	三井 由里	浜松市立佐久間中学校
10	望月 美幸	静岡市立清水小河内小学校	21	内藤 みふゆ	静岡県立浜名高等学校
11	矢作 升美	静岡市立清水飯田小学校			



令和4年度 健康推進学校優秀学校・優良学校

◆ 健康推進優秀学校 1校

1	浜松市立豊西小学校
---	-----------

◆ 健康推進優良学校 5校

1	三島市立北小学校
2	掛川市立日坂小学校
3	磐田市立岩田小学校
4	伊豆の国市立韮山中学校
5	焼津市立焼津中学校



令和4年度 学校歯科保健優秀学校・優良学校

◆ 学校歯科保健優秀学校 4校

小学校	伊豆市立中伊豆小学校
中学校	沼津市立門池中学校
高等学校	静岡県立小山高等学校
特別支援学校	静岡県立沼津聴覚特別支援学校

◆ 学校歯科保健優良学校 15校

小学校	伊豆の国市立大仁小学校
	伊豆の国市立長岡北小学校
	静岡市立東豊田小学校
	静岡市立南藁科小学校
	牧之原市立細江小学校
	磐田市立磐田北小学校
	浜松市立中川小学校
	浜松市立引佐北部小学校
中学校	富士宮市立芝川中学校
	静岡市立東中学校
	牧之原市菊川市学校組合立牧之原中学校
	森町立森中学校
	磐田市立磐田第一中学校
高等学校	静岡県立静岡東高等学校
	浜松市立高等学校

令和4年度 学校環境衛生活動優良学校

◆ 学校環境衛生活動優良学校 19校

小学校	裾野市立西小学校
	長泉町立北小学校
	富士市立富士第二小学校
	静岡市立新通小学校
	静岡市立田町小学校
	焼津市立小川小学校
	浜松市立萩丘小学校
	浜松市立伎倍小学校
	浜松市立上阿多古小学校
中学校	沼津市立金岡中学校
	清水町立清水中学校
	静岡市立賤機中学校
	静岡市立大里中学校
	浜松市立東部中学校
	浜松市立新津中学校
高等学校	静岡県立沼津西高等学校
	静岡県立科学技術高等学校
	静岡県立浜松北高等学校
特別支援学校	静岡県立浜松みをつくし特別支援学校

【感謝状贈呈】

静岡県学校保健会 前会長 紀平 幸一 氏

(現 静岡県医師会 会長)

実践発表

静岡県学校保健研究大会 富士大会 キーワード

「つなぐ」

1 はじめに

富士市学校保健会は、医師、歯科医師、薬剤師およそ200名の、県内でも3番目に大きな組織である。このような大きな組織ではあるが、職種を越えたつながりを大切にしている。

2 学校保健検討委員会との連携 ～関係機関を「つなぐ」取組～

(1) 学校保健検討委員会設立の経緯

学校の健康診断のやり方が学校医によってばらつきがあること、心電図検査はやっているがその後やりっぱなしになっていること、健康診断をもっと有意義なものにしたいことなどという思いから、まずは話し合う会をつくることを提案した。養護教諭も同じ思いで困っていたため、この会を立ち上げることに繋がった。

最初は、平成21年、学校保健委員会という仮の名称で、小児科、内科、耳鼻科、眼科、整形外科の医師7名、養護教諭4名、計11名でスタートしたが、平成24年には、歯科医が合流、平成26年に学校保健検討委員会に名称変更をした。平成27年に担当校長が合流、平成29年に薬剤師会、教育委員会が合流、令和3年には保育幼稚園課が合流し、現在では様々な組織とつながり、学校保健について連携を意識した活動ができる会に成長した。

(2) 学校保健検討委員会の特色

この会は、現場での困り感、動きやすさ、やりやすさ、具体的な実施方法など、具体的な実施方法や動きを一番重要に検討している。教育委員会からの指示を伝達するのではなく、全ての学校保健活動について、医師と養護教諭とが、本音で気軽に話し合える組織であり、他の市町にはない自慢すべき組織である。

(3) 富士市専門委員会との連携

富士市には、腎臓病判定委員会・学校心臓検診委員会・小児生活習慣病予防検診委員会・結核対策委員会・食物アレルギー検討委員会・こころのネットワークふじ等、様々な専門委員会がある。専門委員会が出た課題や情報を、学校保健検討委員会で協議したり共有したりして連携している。

(4) 組織としてのあゆみ

① 学校健康診断の情報交換、改善

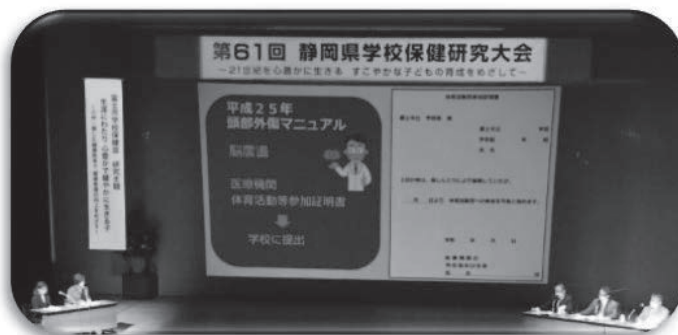
検診のやり方、器具、受診勧告書を含め全ての科の検診システムの改善を行った。各校ばらばらだった検診のやり方、問診票、器具、受診勧告書などを、市内で標準化した。保護者に配付する受診勧告書は保護者にも分かりやすい表現に変更した。また、低身長者への受診のお知らせは、文科省の健康管理プログラム導入以前から、富士市では取り組んでいた。その後も、健康診断の法改正の度に、見直しは本会が

中心になり行っている。

② 「頭部外傷対応マニュアル」の作成

平成 25 年は、他市町に先駆け、頭部外傷を専門に診ていただける医療機関一覧が本会の協力により作成され、脳震盪と診断された場合に学校へ提出する「体育活動等参加証明書」の文書料は、市が負担すること

になった。医師会の後押しがあったことは、非常に大きな力になった。



(5) 富士市学校生活アレルギー対応マニュアル

平成 21 年度、国から学校におけるアレルギー疾患ガイドラインが示されたが、富士市ではそれに先駆け、平成 16 年よりアレルギー疾患予防検討委員会を開催し、平成 18 年 6 月に「アレルギー除去食証明書」を作成し、対応を開始している。当時、食物アレルギーをもつ子供が多くなってきたと医師は診療現場で感じていた。それとともに、適切に除去食対応がされず、保護者や医師の過剰な判断で、いつまでも制限を続け、子供にとって成長期に必要な栄養が十分摂れないことが危惧されていた。また、必要な除去を自己判断で解除し、アレルギー症状が出てしまう事例もあり、この思いから「アレルギー検討委員会」を立ち上げた。小児科のみならず、内科、耳鼻科、皮膚科の医師も巻き込んで、国のガイドラインが出る 5 年前に立ち上げ、アレルギー全般に対応できる委員会を立ち上げた。

不要なアレルギー除去対応を保護者から求められ、本当に必要な児童生徒の対応に万が一事故が起きてしまってもいけない。安全な除去食の提供や事故を防ぐために、どのような体制や準備が必要なのか、学校全体でアレルギーへの理解を深め、万が一のときの緊急対応も含め、この会をすすめている。



(6) 連携してよかったこと

【養護教諭】

- ・学校保健に関わる様々なことが新たに導入されたり、内容が変更されたりした。その度に医師の先生方と話し合う場があり、とても心強く、またスムーズに対応する

ことができた。

- ・小さなことも気軽に相談に乗ってもらえる。医師との距離が縮まった。
- ・インフルエンザ罹患証明書の導入に際しては、学校が混乱しないようにと、すぐに導入するのではなく、この会で検討を重ねてからの導入になり良かった。

【校長】

- ・コロナの対応など、医師の皆様の様々な御意見を伺うことができ、大変心強く、抛り所となった。
- ・医師会の皆様は、学校の立場を御理解いただき、寄り添って一緒にお考えいただけてありがたかった。

【教育委員会】

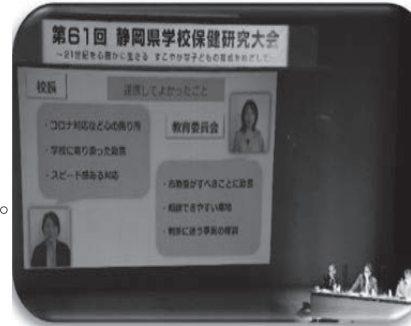
- ・学校や学校医の先生方の双方が気持ちよく検診ができるよう、市教委として何をすべきか伺うことができた。
- ・相談しやすい素地が作られており、どんな事案も相談に乗っていただけ心強い。

【学校医】

- ・学校医の職務についても、小児科以外の内科、外科、整形外科など他科の医師もいるので、全てが同じようにはできない。でも、この会を通すことで、小児科医としての思いが学校医全体へ広げることができる。一校医として、担当の学校へしか話ができなかったものが、この会を通して、全ての学校に話を通るようになった。それにより、健康診断のやり方も、良いことは取り入れるようになった。結果、健康診断のクオリティーの均一化が図れるようになった。長くこの会に関わってきたが、心から続けてきてよかったと思っている。
- ・発足当時からずっと関わってきたが、この会のおかげで学校、養護教諭との距離が本当に近づいた。この会のキャップをやっていた時は、日常的に電話など養護教諭の代表者とのやり取りをした。出席停止のこと、スポーツ振興センターのこと、学校検診に限らず、学校保健の全てに関わることを相談しながら決めていった。
- ・学校の様子も分かるし、医師としての思いも伝え合える。医師会として時には市に掛け合い、学校との間に入ることで、物事がスムーズに進んでいく。これも、学校から現場状況が知らされていなければ医師会として動くこともできない。医師として後押しするために、この会で共有される情報は非常に有用だった。養護教諭の皆さんとのつながりは、これからも、大事にしていきたいと思っている。
- ・一番大事にしてきたことは、気軽に連絡を取り合うことである。学校から学校医への連絡は敷居が高いと思わないで欲しい。医師の方も、気軽に連絡できる雰囲気を作らないといけないと思っている。この会が、養護教諭と学校医のみで開催していた当時と同じく、会が大きくなっても、現場で働く養護教諭の本音の部分がしっかり届く会でないと意味がない。養護教諭と学校医が、しっかりと本音の部分で語り合える関係性は、これからも、引き継いでいって欲しいと思っている。

(7) 子供たちのことをみんなで考える

学校保健検討委員会は、子供たちの健康と健やかな成長を考える学校医の思いか



ら14年前に発足し、今日では様々な関係機関とつながる大きな組織に成長した。職種を越えて連携することで、健康診断に関する課題や子供たちの健康問題を共有し、問題を改善したり新たな取り組みをしたりすることができるようになった。現在、市内共通で当たり前のように行われていることは、様々な専門的立場から検討を重ねてきた成果である。今後も、発足当時の思いをしっかりと引き継ぎ、医師の医学的な視点、教育委員会や教員の教育的立場としての視点、養護教諭の現場の視点など、それぞれの専門的意見を本音で語り合える会として発展させていきたい。この発表のテーマである「つなぐ」にあるように、医師と学校が「指示する関係でつながる」のではなく、「心と心でつながる」そんな組織が県内に増えていくことを願う。

3 健康教育部～養護教諭の「つなぐ」取組～

富士市健康教育部研究テーマ

「生涯にわたり 心豊かで健やかに生きる子」

～小中一貫した健康教育で、健康意識の向上をめざす～



(1) 人をつなぐ ～小学生・中学生の交流～ メディアの取組

A校区では、毎月15日を「ふれ愛デー」、前期・後期に1回ずつ「ふれ愛ウィーク」を設定し、メディアを扱う取組を行った。「ふれ愛」には、メディア機器の使用を控え、余裕のできた時間に家族とふれ合ったり、自分や家族の好きなことや好きなものとふれ合ったりする時間を増やしていこうという意味を込めている。「ふれ愛ウィーク」では、「ふれ愛ウィークチャレンジカード」を作成し、メディア機器の使用時間の目標を立て、1週間の生活を振り返った。

① 校種の違う保健委員会とつながる

小学校と中学校の保健委員長が、昼休みを利用して Zoom でミーティングを行った。メディアに関するクイズを放送したり、「ふれ愛ウィーク」を知らせる掲示物を作成したりするなどの、各校の取組を紹介し合った。また、中学生がビデオレターを作成し、メディア機器を使用するときの姿勢や視力について、小学生に伝えた。小学校では、全校児童が視聴し、その内容をもとに、児童保健委員会が、「ふれ愛デー」「ふれ愛ウィーク」のテーマを考えて取り組んだ。さらに、啓発のために絵本や掲示物を作成した。

② 異なる委員会とつながる

「ふれ愛ウィークチャレンジカード」の保護者の感想に、「子供がメディアを控えた時間をどのように過ごしていいのか分からず困っていた」とあった。このことから、メディア機器の使用を控えた時間を他の活動に置き換える具体的な取組を示す必要性を感じた。そこで、中学校では、図書委員会とつながり、「ふれ愛デー」に本の紹介をしたり、図書室に「ふれ愛デーコーナー」を設けておすすめ本を置いたりした。小学校では、複数の専門委員会がつながり、「ふれ愛ウィーク」をテーマにしたビンゴを作成した。また、ふれ愛ウィークの過ごし方を提案する動画を作り、昼の放送で流した。メディアを控えた時間でどのようなことができるのかを各委員会で考えることで、主体的に活動することができた。

③ PTA とつながる

「ふれ愛ウィークチャレンジカード」に保護者からの提案や要望が記入されることも増えた。そこで、PTA 総務会で、メディアに関する取組について、直接保護者の意見を聞いた。その中で「会に参加していない保護者にも意見を募集したらどうか。」「PTA 専門部からも取組に関する提案ができるのではないか。」という意見が出た。保護者と学校がつながり、子供たちの課題に向き合う第一歩となった。

(2) 地域とつなぐ ～地域とともにある学校～ けが・病気の予防の取組

年々課題となる熱中症予防啓発活動を気温、湿度、WBGT の数値を呼び掛けるだけでなく、熱中症を切り口として色々な活動にアイデアを広げた。大塚製薬の熱中症予防啓発講座を受けた保健委員会の子供たちが、その内容を校内だけでなく地域にも伝える活動を行った。地域に伝える方法として、子供たちは「回覧板」を使用することを考えた。そこで、地域にはまちづくりセンターから回覧板ルートがあることを知り、実際に回覧をお願いした。子供たちは自分の家に届いた回覧板に、作成したお便りが入っているのを見て、取組が地域の人たちに広がる喜びを感じていた。

まちづくりセンターは、学校と地域をつなぐ拠点として、交流しやすい場所である。保健委員会は、健康をテーマとして活動しているので地域への発信をまちづくりセンターに相談すると展開がしやすい。そ



こで、子供が作成した新型コロナウイルス感染予防のポスターを地域の人の目に触れやすい、まちづくりセンターへ掲示していただいた。

6年生の家庭科で、住まいや衣服の調節など、環境や健康などにつながる單元がある。教室の窓からベランダにすだれをかけて、ベランダの気温がどう変化するかを測定した。この授業では養護教諭も参加し、室内でも熱中症が多いことを伝えた。すだれをかける、打ち水をする、それだけでベランダの温度が3度、7度と大きく下がることが分かり驚きの声が上がった。

すだれの効果を実感した6年生の保健委員会の子供たちは委員会の話し合い活動の中で、この効果を学校で試すことを提案した。過去に総合的な学習の時間で行った経験を活かし緑のカーテンを育て、効果を調べ、収穫した種を地域へ配る活動へとつながった。

(3) 学校をつなぐ ～幼小中の定期的な情報交換～ 生活の取組

① 小学校と幼稚園をつなぐ

a 養護教諭による保健指導

幼稚園は、養護教諭が未配置であるため、同じ校舎内にある利点を活かし、年に数回、小学校の養護教諭が園児に「正しい手洗いの仕方」や「視力検査」「感染症予防対策」「体温の測り方」など、保健指導を行っている。

幼稚園の段階から指導を行うことで、指導内容が定着しやすい。また、小学校にとっては入学前の園児の様子を知る貴重な機会となっている。

b 保健委員会による活動

保健委員会が昼休みを活用して園児に「かぜ・インフルエンザの予防」や「咳エチケット」について伝える活動を実施した。紙芝居を園児向けに作成し、発表した。小学生は園児へ伝える活動を通し、主体的活動に取り組み、学びを深めることができた。また、園児と小学生の関係づくりが進み、「縦のつながり」を実感した。

② 中学校と小学校をつなぐ

a 小中合同学校保健委員会

令和2年度は、「よい姿勢」をテーマに小中合同学校保健委員会を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。活動に制限がある中、中学校の保健委員長が「よい姿勢のチェックポイント」を載せたポスターや保健だよりを作成して小学校に届け、小学校とつながる活動を行った。

令和3年度は、小学校5年生と中学校全学年を対象にして、「よい姿勢」をテーマに小中合同学校保健委員会を開催した。小中学校で講師と内容を同一にすることにより、小中のつながりを意識して取り組むことができた。また、子供たちだけでなく、保護者の意識も高まり、改めて姿勢について考えるよい機会となった。

開催後は中学校の保健委員が中心となり、「よい姿勢のポイント」についての動画を作成し、小学校へ届けた。小学校ではその動画を活用し、保健委員が、

小学校全学級と幼稚園に内容を伝える活動を行った。

幼小中でつながりをもって、活動することにより、姿勢に関心をもち、「よい姿勢」を意識する子供が増えたと感じている。教職員からは、「中学生の作成した動画が分かりやすかった。」「子供たちが興味をもって学ぶことができた。」等の感想があった。学校医からも、定期健康診断の折に「姿勢のよい子が増えたね。」との言葉をいただき、成果を実感した。

(4) 教職員をつなぐ ～意識改革・資質の向上～ 生活の取組

① 教職員の危機管理研修

D校区の教職員の実態から、教職員が自分事として研修と向き合うために、事故事例について検討した。検討した事故事例をもとに、救急法の改正点や第一発見者の重要性、正常性バイアスと多数派同調バイアスに着目したパワーポイントを作成した。AED シミュレーション研修や救急法研修会では、KYT・危険予知トレーニングを取り入れ、危機管理研修を行った。

② KYT 研修の実施

事故事例から学ぶ研修も行った。『「学校事故対応に関する指針」に基づく詳細調査報告書の横断整理(文部科学省)』をもとに、頭部外傷や熱中症等の事故を想定した KYT シートを作成し、いつでも校内研修で利用できるようにした。また、中学校区で起きた事故についても検討し、学校の実態に合ったオリジナルの KYT シートを作成した。

(5) 学びをつなぐ ～9年間を意識した保健指導～ 心の取組

人と上手に関わるためには、まず、周りで起こっていること、周りの友達が伝えようとしていることを正しく認識する必要がある。この力を付けるための手だてとして、中学校区のどの学校でも認知トレーニングを行うこととした。「見る力」を付けるために、イラストの間違い探しをしたり、「聞く力」を付けるために、放送で聞き取り問題に取り組んだりした。

富士市では、中学校区で同じスクールカウンセラーが配置されているため、小中連続した指導をするにはよい環境にある。そこで、小学5年生と中学1年生を対象にスクールカウンセラーによる心の健康講座を実施した。小学5年生では、「気持ちは人それぞれ違う」ということを学び、中学1年生では小学校で学んだことを振り返りながら、「感情を表現することの大切さや気持ちの伝え方」について学んだ。中学校区2校の小学校が同じ内容の講座を受講することで、中学校ではステップアップした内容での講座の開催が可能となった。コロナウイルス感染予防のため、開催形態は、クラス単位や Teams でのリモート講座等、それぞれ工夫して実施した。

4 研究の成果と課題

いまだ収まる気配のない、新型コロナウイルス感染症。学校では、これまで当たり前のように行ってきた授業や活動、行事の見直しを余儀なくされた。そして、私たち養護教諭の研修も例外ではなかった。コロナ禍の今だからこそ、健康教育の必要性を

感じ、どんな方法で何ができるのかを模索し続けてきた。そのような中で、子供たちの笑顔から元気をもらい、子供との会話から新しい発見をし、可能な限りの感染症対策をとりながらの活動、リモートを駆使しての実践を行ってきた。

今回の研修では、養護教諭の願い、めざす子供の姿を思い描きながら、「つなぐ」を意識した実践を重ねることで、小中9年間を見通した健康教育を一步進めることができた。

中学校区での実践は、児童生徒の実態や健康課題を明確に捉えることができ、課題に対しての支援を低年齢のうちから行うことができた。

例えば、委員会活動では、異年齢を意識した取組へ発展させたり、学びを深めたりし、子供たち自身に、「積極的に関わろうとする姿」が見られた。この校種をこえたつながりにより、小学校から中学校への進学に対する不安感の解消につながった。

また、中学校区で連携を図ることは、教職員、児童生徒、家庭、地域への関心を高めることとなり、養護教諭自身も校種をこえて協働することの教育的効果を実感することができた。

子供たちは、「つなぐ」を意識した取組によって、自分たちの活動が、つながりを通して認められ、それが自信となり、「主体的に家庭や地域へ働き掛ける姿」へと変容していった。子供自身が活動することにより、自身の健康意識も高まり、自らの健康や生活について考え、行動につながっていく様子も見ることができた。

多くの人と関わりながら活動することを学んだ子供たちは、多くのつながりを体感し、自分たちの生活や成長には、地域や専門機関の方々が関わっていること、そして温かい目で見守り育ててくれていると感じたのではないだろうか。この体験は、地域の中で成長していく過程において大きな意味があったと考える。

今回の取組が将来への長期的な動機付けとなり、今後、子供たちが地域というコミュニティの中で健やかに成長し、将来、地域に恩返しができる大人になってくれることを期待している。

5 おわりに

世界レベルでコロナ禍が続き、生活様式が大きく変わってしまった昨今、子供たち同士が関わる機会も少なくなっている。そのような現状で、子供だけでなく、我々大人にとっても、人とのつながりの大切さに改めて気付くことができた研究でもあった。

この先、今以上に AI（人工知能）が進歩した世の中がやってくる。人間と AI が共存する「新しい社会」において、人とつながり、思いを伝え合い、支え合うことの大切さをこれからの子供たちには伝えていきたい。その中で、「たくましく生き抜く力のある子」「健康な生活ができる子」「自他を大切にする子」を育てていきたい。



受賞者紹介

【文部科学大臣表彰】

令和4年度 学校保健表彰

〔個人〕

秋山 欣三 氏 （静岡市立葵小学校 学校薬剤師）

〔学校〕

浜松市立平山小学校



【日本学校保健会表彰】

令和4年度 全国健康づくり推進学校表彰

〔優良校〕

函南町立丹那小学校



第51回学校保健新聞コンクール

【応募状況】

◇応募総数 22校

＜内訳＞・小 学 校	児童の部 3校	教師の部 2校
・中 学 校	生徒の部 5校	教師の部 4校
・高 等 学 校	生徒の部 4校	教師の部 1校
・特別支援学校	生徒の部 2校	教師の部 1校
	計 14校	計 8校

【審 査】

◇月 日 令和4年12月9日（金）

◇場 所 静岡県教育委員会健康体育課内

【審査結果】 特選4校 入選14校

校 種	部 門	賞	校 名
小学校	児 童	入選	掛川市立東山口小学校
		入選	浜松市立相生小学校
	教 師	入選	伊東市立富戸小学校
中学校	生 徒	特選	浜松市立東部中学校
		特選	浜松市立篠原中学校
		入選	磐田市立向陽中学校
		入選	磐田市立磐田第一中学校
		入選	菊川市立菊川東中学校
	教 師	特選	磐田市立城山中学校
		特選	袋井市立袋井中学校
高等学校	生 徒	入選	静岡県立富士宮北高等学校
		入選	静岡県立駿河総合高等学校
		入選	静岡県立浜松北高等学校
		入選	静岡県立浜松南高等学校
	教 師	入選	静岡県立浜松東高等学校
特別支援学校	生 徒	入選	静岡県立沼津聴覚特別支援学校
		入選	静岡県立富士特別支援学校 富士宮分校
	教 師	入選	静岡県立浜松みをつくし特別支援学校

令和4年度 第51回学校保健新聞コンクール

中学校生徒の部 特選作品

浜松市立東部中学校

Create the best condition!

～ベストコンディションを作ろう！～



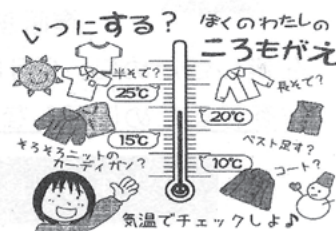
東部中保体委員会

R4.10.28

青空が気持ちの良い季節になりましたが、朝夕は肌寒さを感じ体調管理が難しく感じます。上着や肌着で体温を調節し、体調を整えていきましょう。

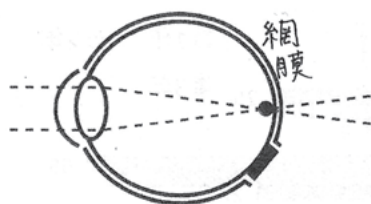
10月の保健目標：目の健康を考えよう

文部科学省の「学校保健統計調査」では、小中学生の視力低下が続いています。学年が上がるにつれて、近視の進行が見られるそうです。



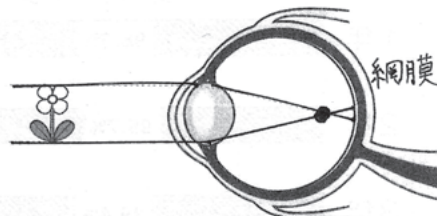
【正視・近視・遠視・乱視ってなに?】

正視：近くも遠くもはっきり見える状態



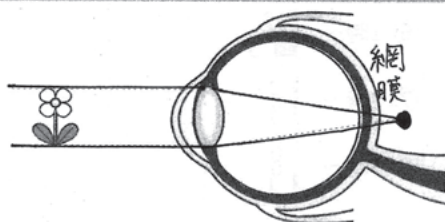
目がリラックスしている時に、目から入った光が、網膜でピントが合っている状態。

近視：遠くがぼやけて見える状態



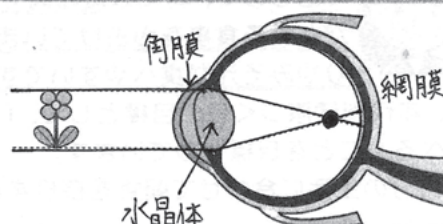
目から入った光が網膜より手前でピントが合ってしまう状態。

遠視：近くも遠くもぼやけて見える状態



目から入った光が、網膜より後ろでピントが合ってしまう状態。状態が軽く、若い人であれば、筋肉を使いピントを合わせることができるので、目が疲れやすい。

乱視：像が二重に見える状態



角膜や水晶体がゆがむことで、ピントが合わず像がぼやけて見える状態。



●長時間、連続で使わずに目を休ませる (遠くを見るようにするとよい)

スマホ、タブレット、パソコン
などを使うときは

●目が乾燥しないよう意識的にまばたきをする



●寝る1時間ほど前からは使わない



OFF

左にある他に、
 ■読書やタブレットは明るい部屋で！
 ■目によい栄養をとる！
 ■睡眠時間を確保する！
 ■裸眼視力B(0.7)以下の人や矯正視力の人、定期的に眼科で検診を受ける！
 ことが大切です。

裏面に続く

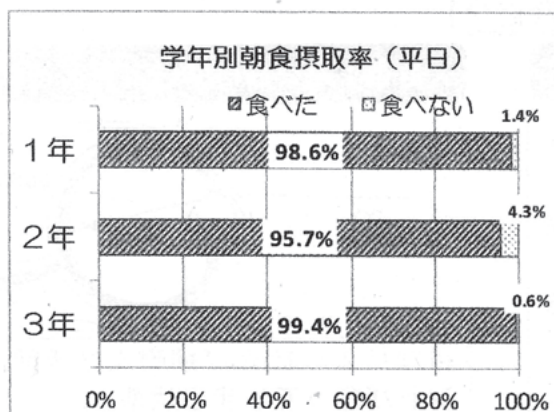
9月の生活習慣チェックの結果より



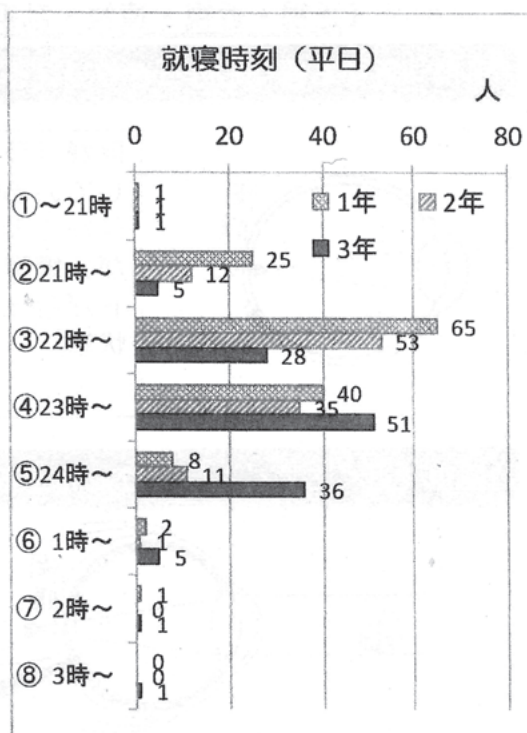
後期保体委員長の和合です。食欲の秋、運動の秋、読書の秋、様々な秋がありますが、みなさんはどんな秋を楽しんでいますか？

寒暖差や学校生活の忙しさから、体は疲れやすくなっています。様々な秋を楽しむために、9月に行った生活習慣チェックの結果を振り返り、ベストコンディションを作るためにどんな工夫ができるのか考えてみましょう！

学年別朝食摂取率(平日)



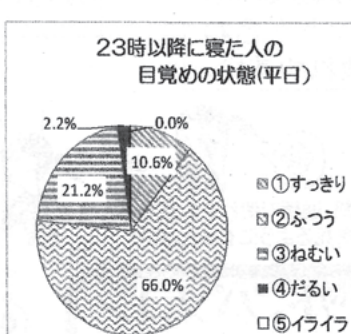
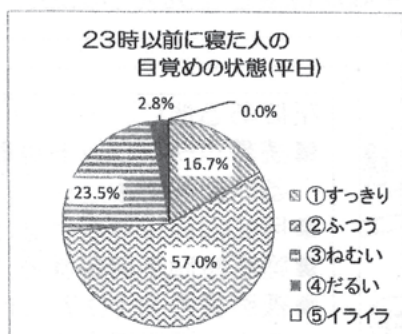
学年別就寝時刻(平日)



副委員長の間瀬です。私は、朝家を早く出るので、朝食は短時間でエネルギーがとれる食事を心掛けています。おにぎりやみそ汁が食べやすいです。浜松市は、年代別健康づくりの目標として、「朝食を必ず食べる」ことを目標としています。

自分の生活に合わせて朝食を摂りましょう。

平日の目覚めの状態の比較(就寝時刻 23 時前後)



就寝時刻は、学年が上がるごとに遅くなります。

就寝時刻が23時前後の人で、翌朝の目覚めの状態を比較すると、①すっきり②ふつうに目覚めた人の割合を足すと、どちらも全体の約4分の3でした。残りの4分の1の人は、眠さやだるさを感じています。睡眠時間で

の比較ではないため、あまり差は見られませんでした。しかし、23時以前に寝た人の方が、「すっきり」と目覚められている人の割合が高いです。平日の帰宅後から寝るまでの時間はとても忙しいです。私は親と相談して、アプリを利用してスマホの使用時間に制限をかけたり、寝る時はスマホをリビングに置いたりしています。睡眠の質を高める工夫を考えてみましょう。



令和4年度 第51回学校保健新聞コンクール

中学校生徒の部 特選作品

浜松市立篠原中学校

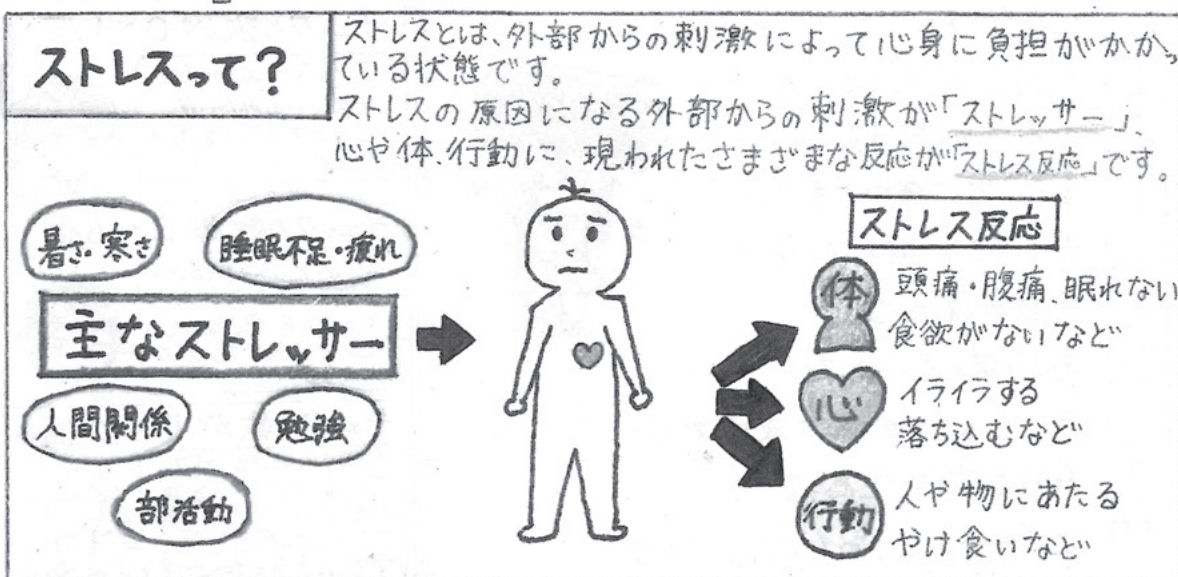


～教室掲示用～

R4 10

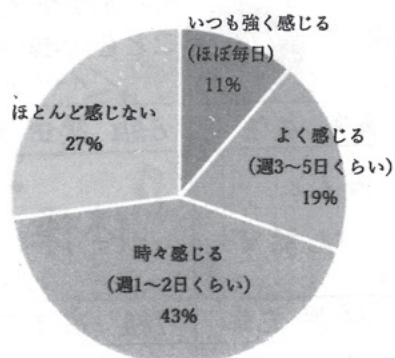
MSY 使い

今月は『ストレス』についての特集です。みなさんは日々の生活でストレスを感じていませんか？

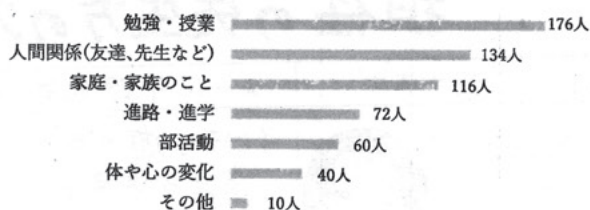


篠中生に聞きましたストレスアンケートの結果
 令和4年7月、全校生徒に実施(369人が回答)

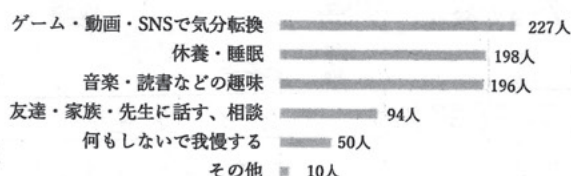
1、あなたは最近ストレスを感じる
 ことがありますか。



2、どんなことでストレスを感じますか
 (複数回答)



3、あなたはストレスをためないために、どの
 ような対処をしていますか。(複数回答)



～スクールカウンセラー 高橋 順造 先生より～「ストレスアンケートの結果を見て」

73%の生徒がストレスを感じることがあると答えているのは、おおむね予想通りです。今の中学生がストレスを感じることは普通のことだと思います。ストレスの対処として「話す・相談」が少ないのが気になります。話せる人を見つけられるといいですね。また、「何もしないで我慢する」が50人もいるというのは心配です。何もしないとストレスはどんどん溜まっていて、いつか抱えきれなくなってしまうかもしれません。自分に合った方法を見つけてほしいと思います。

困っていたらスクールカウンセラーに相談してください。一緒に対処方法を考えましょう。

♡ 心の健康 ストレス チェック ♡

イライラしたり、不安だったり、ストレスを感じることは多いですね。心の状態をチェックしてストレスをためこまない上手な付き合い方を考えてみましょう。

- ☐ イライラする
- ☐ 気持ちが沈んでいる
- ☐ やる気が起きない
- ☐ ものごとに集中できない
- ☐ ものすごく疲れている
- ☐ 食欲がわかない
- ☐ あまり笑わなくなった
- ☐ 気になることがあって夜眠れない
- ☐ 自分はダメだと思っている
- ☐ よく自分をほかの人と比べてしまう



チェックの数が 0～1個

ストレスと上手く付き合えているみたい!!
このままストレスを溜めないようにしよう!



チェックの数が 2～6個

少しストレスが溜まっているかも、これ以上ストレスを溜めないために上手に気分を入れ替えよう!



チェックの数が 7～10個

かなりストレスが溜まっているよ、ストレスを溜め続けると心も体も弱ってしまうよ。原因を減らす方法を考えてみよう!



担任の先生方のストレス解消法

1-1 菅井先生 入浴。	2-1 平野先生 子どもと遊ぶ 道具や家具を ネットで購入。	3-1 榊原先生 睡眠!!	5組 石井先生 その日の感謝すべき ことを10個思い出す。 ＜イッパイヤリガット＞
1-2 菅沼先生 自然散策	2-2 伊藤先生 ハンモックで 読書	3-2 真実先生 家族・友人と たくさん話す	6組 篠田先生 体操
1-3 阿部先生 歌う♪ 食べる 寝る。	2-3 堤先生 サッカー・フットサル ピアノ教室で発散 している。	3-3 横原先生 自然の中で コーヒーを飲む	7組 松本先生 BTSの動画 を見る。
1-4 桔川先生 整理・整頓で♡ 身も心もスッキリ。	2-4 古橋先生 好きなお菓子を たくさん食べる	3-4 佐藤先生 サウナ	おまけ保健室 比奈地先生 寝る前の読書と♪ 休日のダンス

令和4年度 第51回学校保健新聞コンクール

中学校教師の部 特選作品

磐田市立城山中学校

絵の協力…3-2 西川未優さん

3-6 鎌竹萌生さん

家の人と一緒に読みましょう！

けんこう城山

磐田市立城山中学校 保健だより

令和4年11月1日

寒暖差が激しく、肌寒くなってきました。秋と言えば、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋…など色々ありますが、みなさんは今年の秋をどのように過ごしたいですか。かぜや感染症が流行り始める時期です。感染症対策を継続しながら、気候や環境に応じた行動ができるようにしていきましょう。

城山中生にききました!!

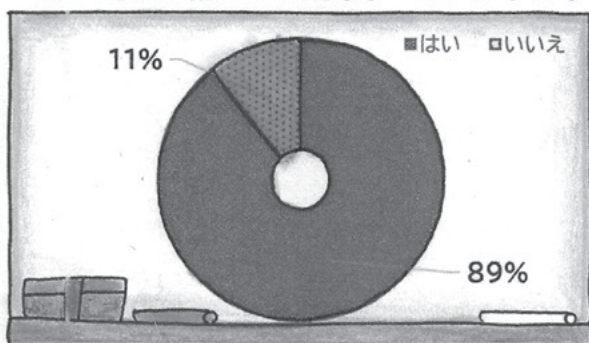


(令和4年度9月実施 対象:城山中724名)

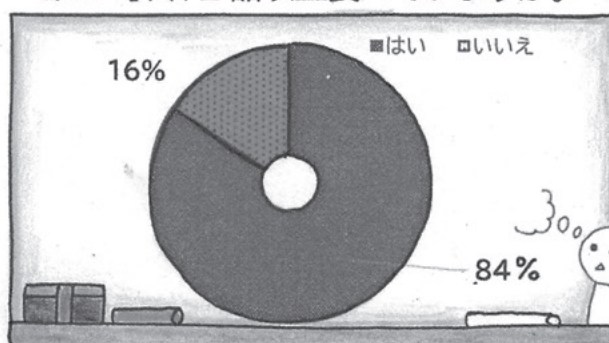
「朝ごはんに関するアンケート」結果

Q.1 毎日、朝ごはんを食べていますか。

Q.2 毎日、2品以上食べていますか。



調査の結果、ほとんどの人が朝ごはんを毎日食べていることが分かりました。朝ごはんを食べていない人の中には、「時間がなかった」「寝坊した」「食欲がなかった」と答える人がいました。



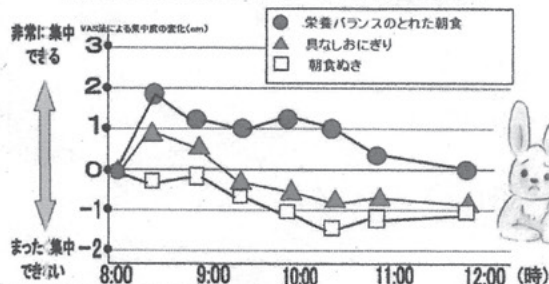
全校の約16%の人が、朝ごはんをパンやご飯のみで済ませています。中には、朝ごはんを食べなかったことで、頭痛や腹痛、めまい・吐き気など身体的な不調を感じたことがあると答えた人もいました。

直撃スcoop!!

栄養教諭の石橋先生にききました!!

城山中生必見!

朝食と集中力の関係とは?



集中力を高めるためには、でんぷんがブドウ糖(脳のエネルギー)に変わるために必要なビタミンB群やタンパク質を摂る必要があります(ミニやごの「二」)。ブドウ糖を長い時間保つためには野菜などの副菜が必要です(ミニやごの「や」)。

グラフ:日本臨床栄養学雑誌 樋口ら

集中力がアップする朝ごはん

大会前の朝ご飯…テストの日の朝ご飯は、

- ① 「みそ汁」で塩分水分、野菜をとる!
- ② 「納豆」でビタミンB群を補給!
- ③ 「旬の果物」でビタミンCを補給!
- ④ 「たっぷりのご飯」でエネルギーを!

を意識しましょう。脳にエネルギーが送られ、集中できます。主菜は、「豚肉」を使ったおかずでもビタミンB群がとれます。大事な日は、緊張してお腹が痛くなりやすいです。「油っぽいもの」は控えましょう。



令和4年度 第51回学校保健新聞コンクール

中学校教師の部 特選作品

袋井市立袋井中学校

袋井あやぐも学園 袋井中学校 保健だより

令和4年11月1日 NO.10

Health Promotion

朝晩は気温が下がり、肌寒さを感じるようになってきました。風邪をひく原因の8割が「体温調節障害」からきていると言われています。寒くなり初めの今頃は、体が寒さに慣れていないため、余計に寒さが身にしみるようです。寒いからといってすぐに厚着をするのではなく、無理の無い範囲で薄着をして皮膚を鍛えることも大切です。また、日中は気温も上がるため、ジャージを着ていて汗をかき、その後汗が冷えて腹痛を訴えるという生徒も少なくありません。気温にあった衣服調節ができるよう声かけをお願いします。

新型コロナ、インフルエンザ同時流行!?

今年は新型コロナウイルス感染症とインフルエンザが同時流行する可能性が極めて高いと言われています。しかし、心配することはありません。今やっていることで十分防ぐことができます。

《 私たちがとるべき感染症対策 》

- 手洗い・うがい・手指消毒の徹底。
- マスクの着用。(特に屋内)
- 室内換気の徹底。
- 発熱などかぜ症状がある場合は、登校を控え休養。



インフルエンザは、2年間日本国内で流行していません。そのため、免疫のある人が少なくなっていると言われています。インフルエンザの予防として最も効果的な方法はインフルエンザワクチンの接種です。

インフルエンザの予防接種は抗体が作られるまでに2週間。抗体の免疫は5か月続くので、11月初旬頃までに接種することをお勧めします。



今年は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を想定しながら、日頃やっている感染症対策を続けていくことが大切です。

☆気になるニュース (令和4年9月8日(木) 静岡新聞より)

お口ぽかん 改善早めに

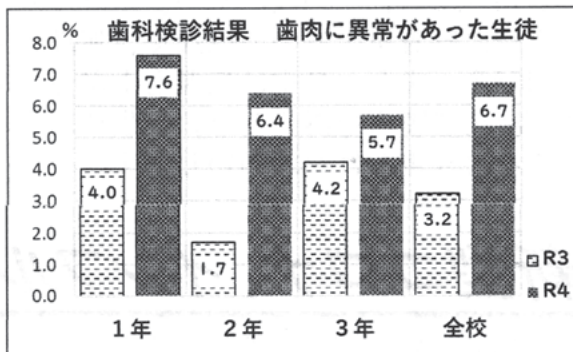
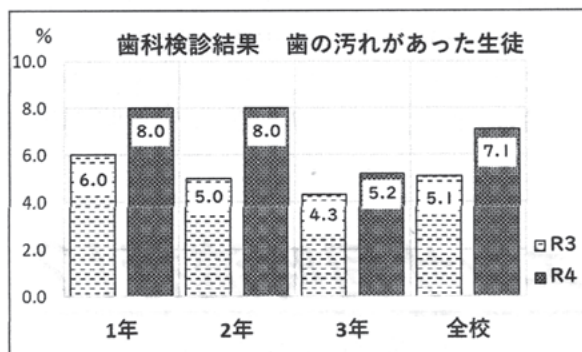
～こんなところにもコロナの影響～
マスク生活や筋力低下で増加!

口が開きっぱなしの子供に「口を閉じなさい」と注意したことはありませんか。日常的に口が開いている状態は「お口ぽかん」と呼ばれ、全身の不調につながりうる「口唇閉鎖不全症」という可能性があります。発育中の子が口を開けたままだと、上下の噛み合わせや舌の位置に異常が生じ、歯並びを悪化させやすくなります。口内も乾燥するため、菌の繁殖などでむし歯や歯周病のリスクも増します。口臭、鼻づまり等に関係している点を指摘している研究もあります。「お口ぽかん」が増える原因は、コロナ下のマスク着用で鼻での息がしづらく、口呼吸をしてしまうこと。さらに口笛が吹けない、うまく麺をすすれない、ガムをかむと疲れるなど、唇や舌、顎の筋力が弱い子が傾向にあると指摘されています。

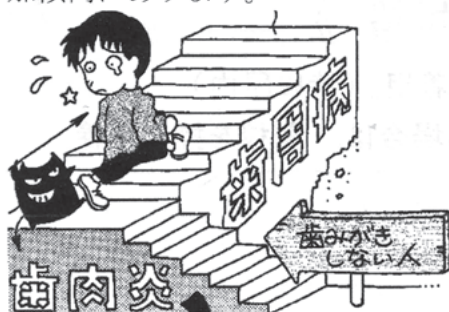
【対策1】 日頃から固いものを食べるようにする。**【対策2】 意識的に口を閉じ、口元全体を鍛える。**



1 学期の歯科検診 結果より



1 学期の歯科検診の結果、「歯の汚れ」「歯肉の異常」と歯科医師から言われた生徒が増加傾向にあります。



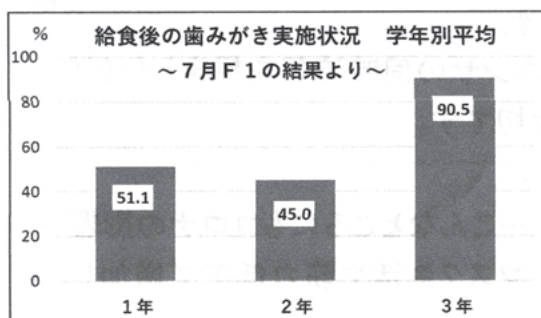
歯周病は、歯と歯肉の間の溝にたまった歯垢が原因で炎症を起こし、歯周組織を破壊していく病気です。

予防するためには・・・

- ①毎日のていねいな歯みがき
- ②よくかんで食べる
- ③寝起きのブクブクうがい



洗浄効果を期待できる「唾液」の分泌量が増えます。



歯肉炎の段階では、ていねいなブラッシングにより炎症を治すことができます。歯を失う2大原因は、むし歯と歯周病と言われています。**歯の寿命を伸ばすも縮めるも、全ては歯みがき次第です。**袋井中では、給食後に歯みがきをしています。しかし、左のグラフの通り、まだまだ定着していません。学校でも生徒保健委員会と歯みがきの重要性について知らせていきたいと思います。御家庭でも、食後の歯みがきの実践をお願いします。

ウィズコロナ時代のエチケット

歯をみがく時に注意したいこと



唾液の飛沫を飛ばさないよう口を閉じてみがく



口をすすぐ水が飛び散らないよう低い位置から吐き出す

歯の治療済みでしたか？

むし歯は放っておいても治りません。歯垢も歯周病の原因になります。大切な時に、急に歯が痛くならないためにも、**早期治療が大切です。**

10月末現在、歯科の未治療者は162人（治療率63.3%）です。

第44回中学校・高等学校生徒保健委員活動発表会（オンライン開催）

本年度もオンラインで開催しました。発表校は各学校からオンラインで発表し、パワーポイントや動画を用いて自校の実践を分かり易く発表しました。

また、28名の一般聴講者の方が参加してくださり、各校の発表に対して多くの質問や感想をいただきました。



- 1 開催日時 令和4年12月26日（月） 9:00～12:00
- 2 配信会場 各発表校 （主催者配信会場：静岡県教育会館）
- 3 参加者 (1) 発表校 沼津市立大岡中学校 静岡県立韮山高等学校
静岡県立富士高等学校 静岡県立小笠高等学校
静岡県立科学技術高等学校（誌上発表）

(2) 参加者数 75名

発表校保健委員	33名	静岡県学校保健会役員	1名
発表校指導教員	10名	主催者（静岡県教育委員会）	2名
一般聴講者	28名	主催者（静岡県学校保健会）	1名

※発表校保健委員及び指導教員は、発表会参加者以外も含む。

4 次 第

(1) あいさつ 静岡県学校保健会 副会長 清水淳次

(2) 発表 ① 静岡県立富士高等学校

「コロナ感染を校内で広げないために」

② 沼津市立大岡中学校

「コロナバスター ～コロナをやっつけながら学校生活をエンジョイしよう～」

③ 静岡県立科学技術高等学校（誌上発表）

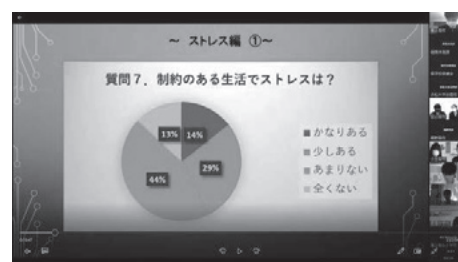
「歯と口の健康を守ろう ～科学技術高校生徒の実態から考える～」

④ 静岡県立小笠高等学校

「ごみの削減に取り組んで ～わたしたちにできること～」

⑤ 静岡県立韮山高等学校

「新型コロナウイルス感染症との向き合い方」



(3) 座談会 テーマ 「コロナ禍における生徒保健委員活動の工夫と課題」

参加者 静岡県立富士高等学校（佐藤 桐さん・瀧 笑子さん）
沼津市立大岡中学校（望月恒暉さん）
静岡県立小笠高等学校（増田吏沙さん・河原崎美咲さん）
静岡県立韮山高等学校（梅原萌瑠さん・鳴海志織さん）

司 会 静岡県教育委員会健康体育課 教育主幹 富田宏美

(4) 指導講評 静岡県教育委員会健康体育課 教育主幹 山口美知子

(5) 閉会

令和4年度 静岡県学校保健会役員（理事会）

令和5年1月現在

No.	役職名	氏 名	所 属	所属内職名
1	会 長	齋藤 昌一	静岡県医師会	副会長
2	副 会 長	山田 秀司	静岡県歯科医師会	副会長
3	副 会 長	秋山 欣三	静岡県薬剤師会	副会長
4	副 会 長	清水 淳次	静岡県高等学校長協会	校 長
5	副 会 長	瀧本 貴行	静岡県校長会	校 長
6	常務理事	近藤 浩通	静岡県教育委員会健康体育課	課 長
7	理 事	小野 宏志	静岡県医師会	理 事
8	理 事	原 田 泰	静岡県歯科医師会	理 事
9	理 事	山口 宜子	静岡県薬剤師会	常務理事
10	理 事	小関 雅司	静岡県高等学校長協会	校 長
11	理 事	戸倉 剛志	静岡県校長会	校 長
12	理 事	山本 佳洋	伊東市学校保健会	会 長
13	理 事	杉山 達郎	田方地区学校保健会	会 長
14	理 事	渡邊 正規	富士市学校保健会	会 長
15	理 事	森 泰雄	志太地区学校保健会	会 長
16	理 事	戸田 顯彦	静岡市学校保健会	会 長
17	理 事	村上 祐介	浜松市学校保健会	副会長
18	理 事	鈴木 理香	静岡県養護教諭研究会	会 長
19	理 事	鈴木 宏和	静岡県高等学校保健会（浜松大平台高校）	保健主事
20	理 事	松野寿満子	静岡県高等学校保健会（浜松大平台高校）	養護教諭
21	理 事	洞口 直子	静岡県教育委員会健康体育課	班 長
22	理 事	山口美知子	静岡県教育委員会健康体育課	教育主幹
23	監 事	多嶋 洋一	静岡県高等学校長協会	校 長
24	監 事	遠藤 宗男	静岡県校長会	校 長

令和4年度 静岡県学校保健会役員（評議員会）

令和5年1月現在

No.	役職名	地区名	氏 名	所 属	所属内職名
1	評議員	賀 茂 地 区	菊池 正仁	下田市立浜崎小学校	校 長
2	評議員	田 方 地 区	木内 健一	伊豆の国市立大仁小学校	校 長
3	評議員	伊 東 市	山下 晃広	伊東市立八幡野小学校	校 長
4	評議員	熱 海 市	國原 尋美	熱海市立伊豆山小学校	校 長
5	評議員	三 島 市	松井 純子	三島市立徳倉小学校	校 長
6	評議員	沼 津 市	窪田由貴子	沼津市立長井崎小中一貫学校	校 長
7	評議員	駿 東 地 区	秋岡 智子	御殿場市立高根小学校	校 長
8	評議員	富 士 市	福島 潤子	富士市立神戸小学校	校 長
9	評議員	富 士 宮 市	平野 恵子	富士宮市立白糸小学校	校 長
10	評議員	静 岡 市	原田 知明	静岡市立東豊田中学校	校 長
11	評議員	志 太 地 区	曾我 広義	島田市立島田第一小学校	校 長
12	評議員	榛 原 地 区	石川 泰宏	川根本町立中川根中学校	校 長
13	評議員	小 笠 地 区	檜林 正礼	掛川市立倉真小学校	校 長
14	評議員	磐 周	速水 徹	磐田市立豊田南小学校	校 長
15	評議員	浜 松 市	富部 哲也	浜松市教育委員会 健康安全課	課 長
16	評議員	湖 西 市	鈴木 康弘	湖西市立新居中学校	校 長
17	評議員	高 校 部 会	植松裕美子	静岡県立裾野高等学校（東部）	保健主事
18	評議員	高 校 部 会	堀之内 大	静岡県立静岡高等学校（中部）	保健主事

令和5年度 静岡県学校保健会事業計画（予定）

- 1 第62回静岡県学校保健研究大会
 - 期 日 令和5年11月16日（木）
 - 会 場 函南町文化センター
 - 開催地区 田方地区
- 2 学校保健活動推進事業
 - (1) 第45回中学校・高等学校生徒保健委員活動発表会
 - 期 日 令和5年12月25日（月）
 - (2) 第52回学校保健新聞コンクール
 - 応募期限 令和5年11月22日（水）
 - 審査会 令和5年12月8日（金）
 - 部 門 小・中・高・特別支援学校 児童生徒の部 教師の部
 - 応募条件 令和4年12月から令和5年11月までに発行した保健新聞
児童生徒の部、教師の部 いずれか1校1点
 - (3) 学校保健研究活動助成
 - ア 静岡県学校保健研究大会開催助成
第62回大会（田方地区）・第63回大会（熱海市・伊東市・賀茂地区）
 - イ 地区学校保健研究活動助成
 - ウ 専門部研究活動助成
 - エ その他の助成
 - (4) 第74回関東甲信越静学校保健大会
 - 期 日 令和5年8月3日（木）
 - 会 場 埼玉会館他（埼玉県さいたま市）
 - (5) 令和5年度全国学校保健・安全研究大会
 - 期 日 令和5年10月26日（木）・27日（金）
 - 会 場 神戸文化ホール他（兵庫県神戸市）
 - (6) 令和5年度全国学校保健会中央大会
 - 期 日 令和5年10月27日（金）
 - 会 場 神戸市立中央体育館（兵庫県神戸市）
- 3 専門部活動推進事業
 - (1) 学校歯科保健に関する調査 令和5年5月下旬
 - (2) 学校環境衛生活動に関する調査 令和5年5月下旬
- 4 表彰に関する事業
 - (1) 学校保健功労者表彰（第62回静岡県学校保健研究大会にて表彰）
 - (2) 健康推進学校表彰（ 〃 ）
 - (3) 学校歯科保健優良学校表彰（ 〃 ）
 - (4) 学校環境衛生活動優良学校表彰（ 〃 ）
 - (5) 学校保健新聞コンクール
- 5 広報に関する事業
 - (1) 第45回中学校・高等学校生徒保健委員活動発表集録の発行（12月発行予定）
 - (2) 会報 第121号「学校保健のうごき」発行（3月発行予定）
- 6 健康検診結果の実態と研究報告
 - (1) 令和5年度学校歯科保健調査結果（静岡県歯科医師会）
- 7 理事会・評議員会等
 - (1) 第1回理事会・評議員会 令和5年6月15日（木）
 - (2) 第2回理事会・評議員会 令和6年2月15日（木）
 - (3) 学校保健功労者等審査委員会 令和5年9月21日（木）
 - (4) 令和5年度会計監査 令和6年4月実施予定

※上記計画は令和5年2月現在の予定であり、今後変更される場合もあります。